



動物たちのベビーラッシュ 2023 春

～クロカンガルー、パルマワラビー、エミュー、ケープペンギン、ミミナガヤギ、パンダヤギ～

2023年3月16日
株式会社伊豆シャボテン公園

クロカンガルー

kangaroos



パンダヤギ

goats



エミュー

birds

baby rush

動物たちの
ベビーラッシュ

2023 spring

Happy birthday /

2/2(thu) クロカンガルー

2/9(thu) パルマワラビー

2/24(fri) ミミナガヤギ

3/5(sun) パンダヤギ

2/3(fri) エミュー

2/6、2/8 ケープペンギン



パルマワラビー



ミミナガヤギ



ケープペンギン

IZU SHABOTEN ZOO

伊豆シャボテン動物公園では、春の到来と共に動物たちのベビーラッシュが始まりました。2月～3月上旬に誕生した動物の赤ちゃんは、クロカンガルー、パルマワラビー、エミュー、ケープペンギン、ミミナガヤギ、パンダヤギなどです。

「カンガルーの丘」では、2月2日(木)にクロカンガルーのお腹の袋から赤ちゃんが顔を出し、他にも1頭の母親の袋の中で赤ちゃんが育っております。2月9日(木)にはパルマワラビーの赤ちゃん(オス)が1頭、3月10日(金)にも赤ちゃん(メス)1頭の誕生が確認されました。

また、ふ卵器で育てていたエミューの雛が2月3日(金)に1羽孵化し、天気の良い日には、「カンガルーの丘 エミュー展示場内」で元気に走り回る姿を見ることができます。

さらに、ふ卵器で育てていたケープペンギンの雛が2月6日(月)と2月8日(水)にそれぞれ1羽孵化しており、どちらも人工育雛にてすくすく成長しております。

2023年2月24日(金)に、「なかよし牧場」でミミナガヤギの赤ちゃん(メス)が1頭、3月5日(日)に、「ロックガーデン」で当園初となるパンダヤギの赤ちゃん(オス)が1頭誕生しており、どちらも天気の良い日には展示場内で母乳を飲んでいたり、母親の後ろについて歩いたりする愛らしい姿を見ることができます。

※赤ちゃんの体調や天候等により、ご覧いただけない場合があります。

お問い合わせ先:株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部

TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4



クロカンガルー



【英名】Western Grey Kangaroo 【学名】*Macropus Fuliginosus*
【分類】有袋目 カンガルー科
【分布】オーストラリア南部の半乾燥地帯に属する低木林
【形態】頭胴長:80~100cm、尾長:80~100cm、体重:30~50kg
【生態】10~12頭の群れを作り、夜間にイネ科の植物や木の葉を採食し、日中は強い日差しを避けて生活しています。前足よりも後足が発達し、時速約40kmで走ると言われています。妊娠期間は約1ヶ月で、赤ちゃんは体長約2~3cm・体重約1gの未熟児状態で生まれます。すぐに自力で育児嚢に入り、約6ヶ月後にやっと袋から顔を出し、約1年で自立(乳離れ)をします。

【当園のクロカンガルー [場所:カンガルーの丘]

ぽかぽかと暖かい日には赤ちゃんが頻繁に顔を出すようになり、さらに1ヶ月ほどするとお腹の袋から外に出る姿がみられるようになります。2月2日(木)に誕生(※)した赤ちゃんの他にも、別の母親の袋の中にもう1頭の赤ちゃんがいることが確認されています。

パルマワラビー



【英名】Parma Wallaby 【学名】*Macropus parma*
【分類】有袋目 カンガルー科 ワラビー属
【分布】オーストラリア南部、パス海峡のキニグ島と他の小島、タスマニア
【形態】頭胴長:45~50cm、尾長:45~48cm、体重:4~5kg
【生態】森林地帯で単独もしくは少数の群れを作り生活をしている夜行性の動物です。妊娠期間は約30日で、1回の出産で1頭を出産します。生まれたての赤ちゃんは毛もなく目も見えず、1~2cmの未熟な状態で母親の腹部の道を通って育児嚢に入ります。生後約6ヶ月で袋から顔を出すようになり、授乳は生後約1年続きます。

【当園のパルマワラビー [場所:カンガルーの丘]

2023年2月9日(木)オスの「タマ」、3月10日(金)メスの「カズノコ」の計2頭が誕生(※)いたしました。

現在、赤ちゃんたちは「カンガルーの丘」内にある一角のエリアで過ごしており、約3ヶ月後にはふれあいエリアにデビューする予定です。

(※)有袋類のクロカンガルー、パルマワラビーは、非常に未熟な状態で生まれる為、当園では赤ちゃんが初めて袋から顔を出し、飼育員がそれを確認した日を「誕生日」としています。

エミュー



【英名】Emu 【学名】*Dromaius novaehollandiae*
【分類】ヒクイドリ目 エミュー科
【分布】オーストラリア大陸全域の草原や砂地など
【形態】体長:1.4~2.0m、体高:1.6~2.0m、体重:40kg~60kg
現生する鳥類の中ではダチョウに次いで大きな鳥で、体長は1.6m~1.9mほどですが翼は退化して小さくなり、20cmくらいしか飛び上がることが出来ません。その代わりに50km/hの速さで走ることが出来ます。水浴びが好きで、泳ぐことも出来ます。食性は雑食性で、主に昆虫、果実、種子、下草などを食べます。オスが巣づくりから子育てまで全てを担います。オスとメスとで鳴き声が異なり、オスは「グォグォー」と低い声で鳴き、メスは「ボン・ボン…」と太鼓を叩くような声で鳴きます。

【当園のエミュー [場所:カンガルーの丘・エミュー展示場]

2023年2月3日(金)生まれの「昴(すばる)」をはじめ、2022年12月11日(日)生「福(ふく)」、2023年1月1日(日)生「寿(ことぶき)」、1月10日(火)生「宝(たから)」の計4羽の雛たちでにぎやかになりました。

天気の良い日には、雛の時期にだけみられる縞模様をした可愛い4羽の姿をみることができます。

ケープペンギン



【英名】African penguin 【学名】*Spheniscus demersus*

【分類】ペンギン目 ケープペンギン属

【分布】南アフリカ沿岸部

【形態】体長：約 70cm、体重：約 3 kg

【生態】「ケープ」とは生息地である南アフリカのケープ地方に由来し、アフリカ大陸で唯一生息するペンギンのため「アフリカンペンギン」とも呼ばれています。一夫一妻制で一生を同じ番(つがい)で過ごすと言われており、営巣から抱卵、子育ても雌雄が協力して行います。トンネルや地表に作った巣で一度に 1～2 個の卵を産み抱卵期間は約 40 日、幼鳥は 4 ヶ月ほどで巣立ち 1 年後に最初の換羽期を迎えます。

【当園のケープペンギン [場所:ケープペンギン展示場]

ケープペンギンは希少な動物で、全国の動物園・水族館が繁殖に取り組んでいる種です。しかし、今回卵を産んだペアはこれまで抱卵・孵化・育雛の経験がなく、誕生した生命を守るために飼育員がふ卵器で卵を温め、親代わりとなり人工育雛で育てています。今後は、雛たちの体調をみながら仲間達が暮らす「ケープペンギン展示場」にて、少しずつ顔あわせをしていく予定です。

ミナガヤギ



【英名】Long-eared Goat 【学名】*Capra hircus*

【分類】偶蹄目 ウシ科

【分布】パキスタン

【形態】体長：100～110cm、体高：70～80cm、体重：30～40kg

【生態】野生のヤギから品種改良された家畜種で、パキスタンが原産です。30～40cm 程もある長く垂れ下がった耳は体温調整に役立つと言われています。雌雄ともにねじれた角があるのも特徴の一つです。一般にヤギは動作が敏捷で、高いところに登り樹木の葉を好んで食べます。

【当園のミナガヤギ [場所:なかよし牧場]

2017 年よりミナガヤギを飼育。今回、メスの赤ちゃんが 1 頭誕生したことにより、メス 4 頭、オス 2 頭、計 6 頭の家族となりました。現在、母「マール」と共に獣舎内で主に暮らしておりますが、今後は赤ちゃんの体調をみながら、家族が暮らす「なかよし牧場」で過ごす予定です。

パンダヤギ



【英名】Feral goat 【学名】*Capra hircus*

【分類】偶蹄目 ウシ科

【分布】パキスタン・アフガニスタンなど

【形態】体長：100～110cm、体高：70～80cm、体重：30～40kg

【生態】白黒でパンダのような柄をしていることから「パンダヤギ」と呼ばれています。オスメス共に特徴的なヒゲと角を持っています。角の形や長さは多様で、後方に湾曲、螺旋状、あるいは左右に広がっています。食性は草食で、草本類、葉や芽、樹皮などを食べます。

【当園のパンダヤギ [場所:ロックガーデン]

2022 年 7 月に「ロックガーデン」エリアのリニューアルと共にパンダヤギの飼育を開始しました。当園でパンダヤギの赤ちゃんが生まれたのは初めてで、母「トモミ」は初産となります。母親は、赤ちゃんの面倒をしっかりとみており、ぽかぽかと暖かい日には展示場内で親子の仲睦まじい姿をみることができます。

